



はちの子

世代間交流教室「ザ・わくわく」再開！

令和2年度、3年度とコロナ禍のため中止だった世代間交流教室（ザ・わくわく）が再開しました。第1回は「七夕飾り（1年生）」です。七夕飾りを作り、子供たちは短冊に思い思いの願いを書きました。笹は本校の茂木PTA会長と和田元PTA副会長が用意してくださいました。家庭では、なかなか笹を用意することが難しくなってきた中、子供たちにとって貴重な経験をさせてもらっていることに感謝しています。御指導いただきました中川光正様、富勢地域ふるさと協議会福祉事業部、布施近隣センターの皆様ありがとうございました。

短冊にはどんな願いが書いてあるのでしょうか？ いくつか紹介します。

- ・かけさんができますように ・ともだちいっぱいくれますように
- ・けんこうでおねつがでないように ・がんばりてすと100てんとれますように
- ・このせかいがへいわになりますように このせかいのみんながいい人になりますように

短冊に書かれた願いは、どれも真剣に心から願っていることの一つです。それらがかなえられるように応援していきます。



「思いやいの心」を育てる

思いやりの心とは、相手の立場に立って考えたり、気持ちを理解したり、その場に合った行動のできる心情です。この心は、親の深い愛情や家族との温かい交流の中で育ち、近隣の人たちや多くの人々とのふれあいを通じて培われます。また、実際に自分が困った時に助けてもらった経験などによって、さらに深い思いやりへと広がっていきます。「ありがとう」は、みんなの気持ちを温かくする言葉の薬です。

周りの方々の温かな眼差しや見守りが、子供たちを大きく成長させていきます。



マスクの着用について（基本的にマスク着用ですが、次の場合はマスクの着用は必要としません）

①十分な身体的距離が確保できる時、②気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日など熱中症等の健康被害が発生するおそれがあるとき（登下校中を含む）、③暑さで息苦しいと感じたとき、④体育の授業や部活動等で体を動かすとき。御理解と御協力の程よろしくお願いたします。